

潮寿荘 だより

平成28年12月14日発行
発行：特別養護老人ホーム
潮 寿 荘
記事：12月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：千葉幸子(66歳)



海鮮たっぷり五目丼

今年11月に入る前からとても寒い日が続いていましたが、ドライブ外出の11月7日だけは天気も良く暖かい日でした。阡子さん、幸子さん、征夫さん、北川相談員、私の5人で函館朝市にご飯を食べに行ってきました。行く車の中では何丼がいいか大盛り上がり。着いてからもメニューを見てあれこれ悩みました。征夫さんはカニだけがいい、とのこと。カニと他のネタが乗っているのも勧めたのですが「他のは施設で食べられる。カニはないから」と言ってカニ丼にしました。そしてお待ちかね

の丼ぶりがテーブルに来ると「うわー、大きい！こんなに大きいとは思わなかった」と阡子さん、美味しいけどお腹いっぱいだと半分しか食べられませんでした。とっても満足された様子。幸子さんは上に乗って海鮮を先に食べた後「多い」といながらもご飯も殆ど食べていました。征夫さんは「うまいなー」と完食です。私は五目丼をたのみました。皆さんのより小さな丼でしたがいろんな海鮮が乗って、とっても美味しかったです。そのあと阡子さんに「私が残したのも食べて良いよ」と言われそちらもいただきました。食べてる途中、イカ墨プリンというポスターを見て珍しいから食後のデザートに食べましょうとみんなが話したので、結局お腹いっぱい食べて食べられませんでした。



幸子さん

阡子さん

久しぶりに食べた！

幸子さんが食べた三色丼(カニ、イクラ、ウニ)



黙々とカニ丼も食べる 征夫さん

うまいなー

最後に阡子さんが「今日のことは死ぬまで忘れないよ」と言ってくれたのが嬉しかったです。ちなみに北川相談員はその日の給食が生姜焼きだったので「俺は海鮮よりもそっちがいいから潮寿荘に戻ってから食べる」と、みんなが食べているのを眺めているだけでした。(プリンも食べられたけど遠慮して食べなかった介護士・鈴木)

あった介護施設職員部門 に潮亀神社が選ばれました！



↑岡山県から来て下さりました

毎年正月に現れる潮亀神社。受賞式の為、この日特別に出しました。松野庶務主任がダンボールで作ったものです。

11月9日、2つの贈呈式がありました。どちらも入居者の歌(ソーラン節)でお礼しました。

絵画寄贈

工枚のステキな絵は、新しい施設に飾ってあるのでいつでも見に来て下さい。



↑柳沢淑郎作「女優」



↑ジェニー・マークス作「少年と魚」(中野様)

×イデン様より

ステキなひととき

11月13日、大正琴のゴールドローズの皆さんが演奏に来て下さいました。ステーション準備が出来て演奏者の皆さんの支度ができるのを待つ間、15分位あったので、私、介護士泉が前に立ち「泉オリジナルリハビリ体操」を入居者の皆さんにやって頂きました。が……「早く大正琴を聞きたいのに」と思われてか私に対する入居者さんの視線は冷たくて、潮寿荘一のエンターティナー内村介護士が本気で恋しいと思う介護士泉でした。それでもまだ始まるまで時間があるため今度は美声入居者みち子さんに一曲歌って頂くと、これには会場から盛大な拍手が巻き起こりました。そしてついに、ゴールドローズの皆さんの登場です。「函館の人」「瀬戸の花嫁」「ふるさと」など誰でも聞いたことのある曲を合計で10曲演奏して下さいました。笑顔で大きく手拍子して聞くちよ子さん、綺麗な音色に思わず眠ってしまう妙子さん、ハナ子さん。とてもステキなひとときでした。ありがとうございます。ぜひまた来て下さい。

(最新の流行りでもみあげが片方だけになったオシヤレ介護士・泉(慶))



潮太郎 芋を守りきれ!!

10月28日に潮太郎運営推進委員の関谷様の畑にてサツマイモの収穫祭が行われました。今年安納芋も作ったこの事で収穫させていただきました。関谷さん「一週間くらいしてから食べてね」と私「一週間ガマンします」

10月28日当日の茶話会の時。私「私の中では一週間たった。食べよう!」利用者様「ぜんぜん一週間たってなくても美味しい。一週間経ったらどんな味になるのかな」
……一週間後……
私「毎日少しずつなら食べても大丈夫って言ったたの誰だよ!」もう半

収穫した芋を手に😊



大学芋も作りました

分もないよ」11月末には潮太郎運営推進会議が行われ、その時委員の皆さんに食べていただくことになっていきます。私「かなり少なくなりました」運営推進会議の分だけは確保しておかなくては……「だけれど分けたら残り少なくなっちゃった……」
その週の週末。いつものように町内

を散歩していた私。関谷様宅の前で関谷様に遭遇しました。芋のお礼を言う「芋は足りているかい?足りなかつたらいつでも言うてね」と優しいお言葉。「大丈夫です。ありがとうございます」と私。あつっ何で芋足りないって正直に言わなかつたんだ!なんで大丈夫なんて言っただんだ!と心の中で自分を責めながら家に帰りました。
なんとか残った芋を守り切り、残った芋を運営推進会議にて無事試食していただくことができました。関谷様、おいしい芋をありがとうございます。
(食べ物には目がない潮太郎の管理者・清水)

私と芳蔵さんの会話

ある日のことです。いつものソファに座っている芳蔵さんの隣りに座ると私の肩をたたき、小声で「あんた毎日見る顔だけでもこのボスかい?」と真面目な顔をして一言。いきなりなことびびくりした私は「ちがいます!!私は平社員です」と答えてしまい、すると芳蔵さんは「なあくん緊張して損した」と笑って言われました。
また別の日。私はお風呂に誘導する担当だったのでソファに座ってる

芳蔵さんを迎える行くと「お風呂なんて入らないよ」ときっぱり断られてしまいました。「入れば気持ちいいから行きましょ」と手を取るとまたまた笑いながら「ボスの言うことは絶対だもんなあ」と。
なんの組織のボスなのかはわかりません。態度がデカイから?そうゆう顔だから?他の入居者さんからも同じようなことを言われる今日この頃。そういえば高校の頃のあだ名も『組長』でした。
(少し前まで母さんと呼ばれてた貴緑のある23歳介護士・平館)

1月よてい

- 6日 新年会
- 9日 鍋会食 (薬味、パイナップル鍋)
- 11日 誕生会 特別喫茶 (おしろこ)
- 23日 鍋会食 (おでん)

はこだて、潮開設につき、たくさんの方からお祝いの品や、ご厚志、祝電を頂きましたこと、心よりお礼申し上げます。